

きいて・めもして・こたえよう

しょうぼうさんの はなし

なまえ _____

きくめあて 「くんれん」「どうぐ」を おとさずに ききましょう。

しごと

くんれん

どうぐ (二つ)

ほうそうが おわったら、ひらいて もんだいに こたえましょう。

(1) しょうぼうさんは、火^かじの とき、何^{なん}で 火^ひを けしますか。あう ものに ○を つけましょ

ア 水^{みず}

イ すな

ウ かぜ

(2) まい日^{にち}、どんな くんれんを して いますか。あう ものに ○を つけましょ

ア おもい ホースを もって はしる

イ 字^じを 書^かく

ウ うたを うたう

(3) けむりの 中^{なか}でも いきが できるように する どうぐは、なんですか。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声を流す）。読む回数：2回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

しょうぼうしょで はたらく、しょうぼうしさんに おはなしを ききました。

「火じが おきたら、すぐに しょうぼう車で 出動して、水を かけて 火を けします。人の いのちを まもる しごとです。」

「いつでも うごけるように、まい日、おもい ホースを もって はしる くんれんを して います。」

「じゅうような どうぐは、火や けむりから みを まもる ぼうか服と、くうきボンベです。ボンベが あると、けむりの 中でも いきが できます。」

メモのれい

しごと 火を けす・いのちを まもる

くんれん ホースを もって はしる

どうぐ ぼうか服・くうきボンベ

こたえと かいせつ

(1) ア (水)

「水を かけて 火を けします」と いって いました。

(2) ア

「おもい ホースを もって はしる くんれんを して います」と いって いました。

(3) くうきボンベ

「ボンベが あると、けむりの 中でも いきが できます」の ところで す。